

# AXIS co.,ltd.

## Information technology

### 2021年12月期第2四半期 決算補足説明資料



株式会社アクシス

2021年8月12日

証券コード：4012 / 東証マザーズ

- I 2021年12月期 第2四半期 連結決算実績**
- II 2021年12月期 通期業績見通し**

# ① 2021年12月期 第2四半期 連結決算実績



## 売上高

2,225百万円

(前年同期比+18.4%)

## 営業利益

232百万円

(前年同期比+20.8%)

## 営業利益率

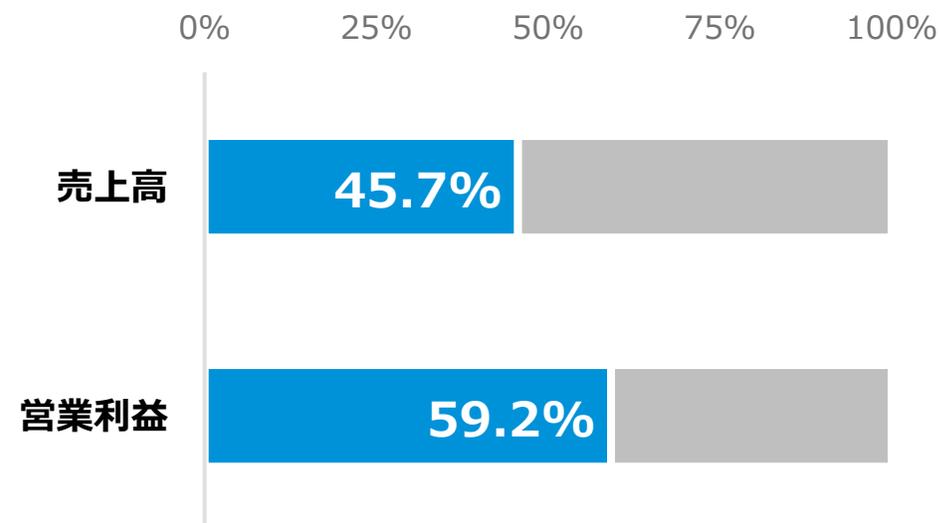
10.4%

(前年同期比+0.2p)

## ■ポイント

- ✓ 子会社取得の影響もあるが、前年同期から大幅な増収増益
- ✓ SI事業は好調、CS事業も堅調に推移
- ✓ 受注残高も前年同期比で74%の大幅増
- ✓ 通期業績予想に対する進捗率も良好に推移

## 通期業績予想に対する進捗率



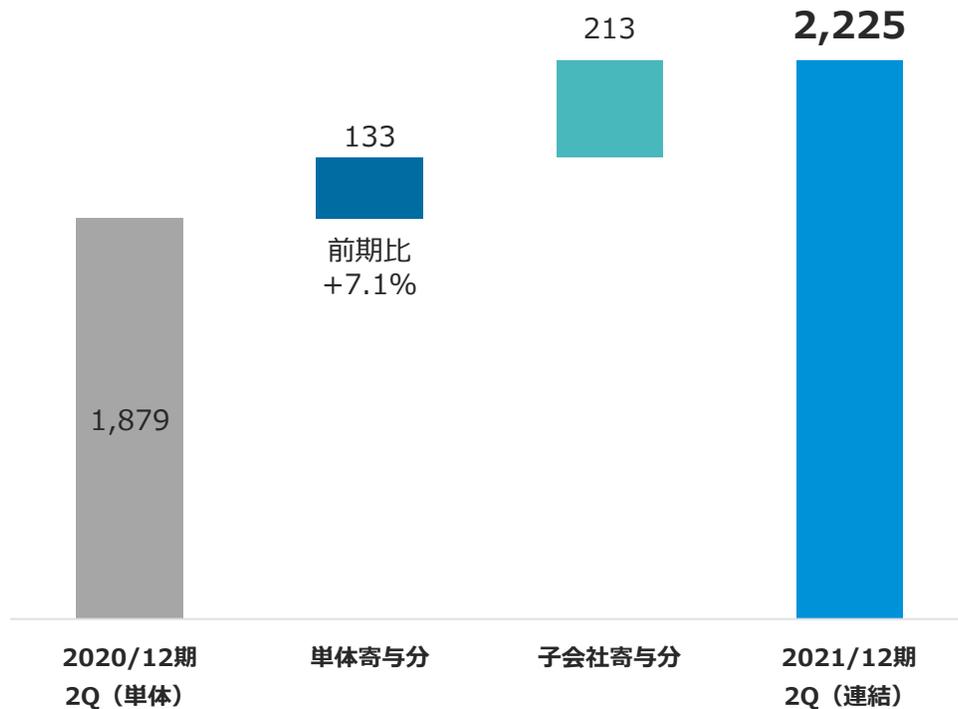
DXを含む企業のITシステム投資は堅調。人員増強により案件も増加し、前年同期比で増収増益を達成  
単価の向上などにより、売上総利益率も前年同期比2.3ポイント上昇

(百万円)	2020/12期 2Q (単体)	2021/12期 2Q (連結)	前期比		通期業績予想 に対する進捗率
			増減額	増減率	
売上高	1,879	<b>2,225</b>	+346	18.4%	45.7%
売上総利益	493	<b>634</b>	+141	28.8%	50.4%
営業利益	192	<b>232</b>	+40	20.8%	59.2%
経常利益	204	<b>245</b>	+41	20.0%	59.7%
四半期純利益	131	<b>144</b>	+13	10.2%	56.7%
売上総利益率	26.2%	<b>28.5%</b>		+2.3P	-
営業利益率	10.2%	<b>10.4%</b>		+0.2p	-
経常利益率	10.9%	<b>11.0%</b>		+0.1p	-

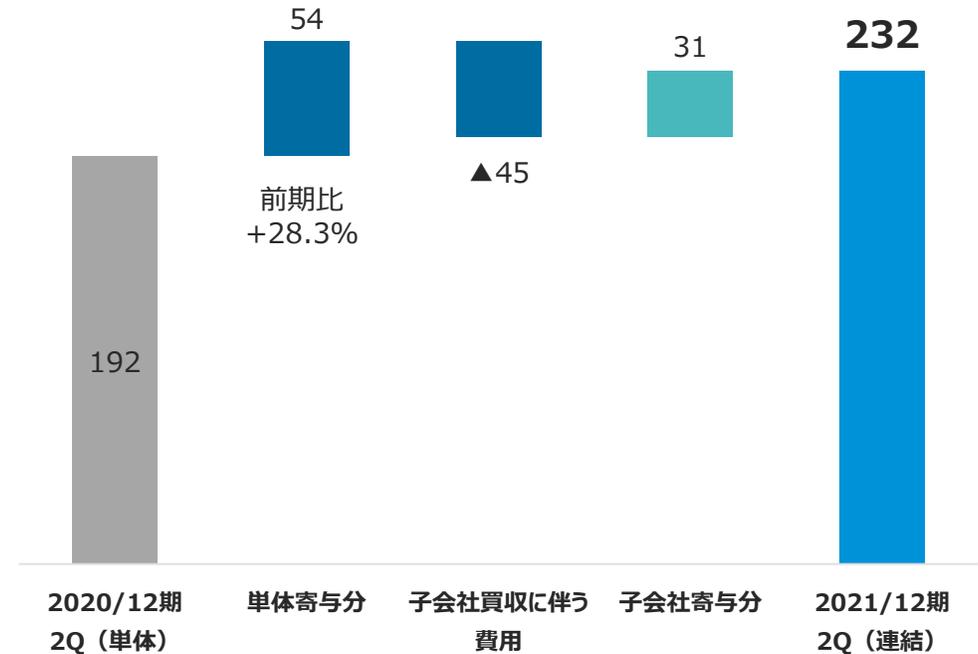
売上高については子会社化したヒューマンソフトの寄与分もあるが、単体でも着実に成長  
営業利益についても単体が大きく伸びており、子会社買収に伴う費用を吸収し増益を達成

## 売上高

(百万円)



## 営業利益



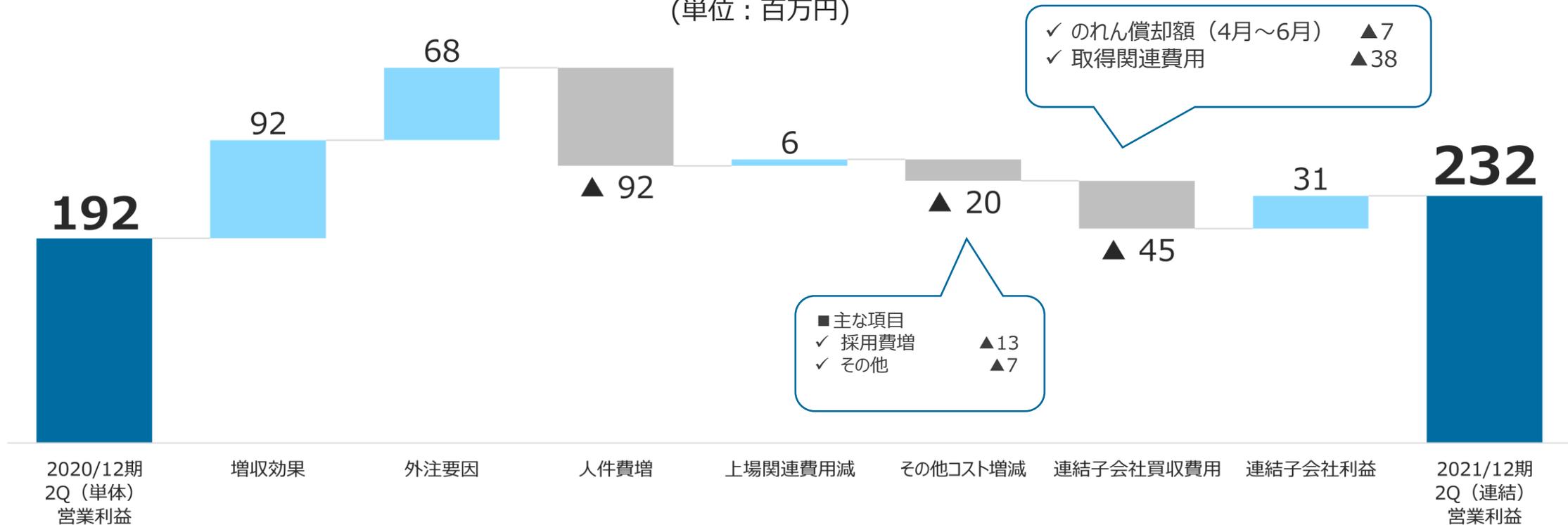
営業増益の主因は、受注増による売上の拡大

エンジニア採用強化により増加した人件費や連結子会社買収費用等の減益要因を吸収し、増益を達成

営業利益率も10.4%と、経営目標である10%を超過

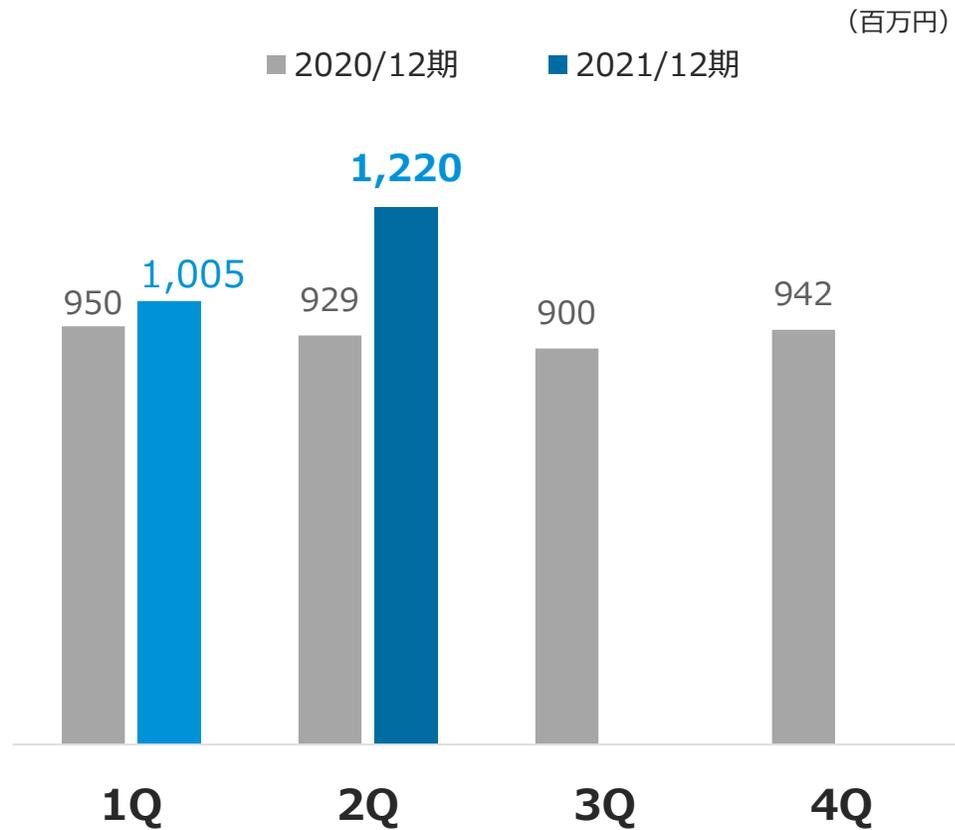
## 営業利益 増減益要因分析

(単位：百万円)

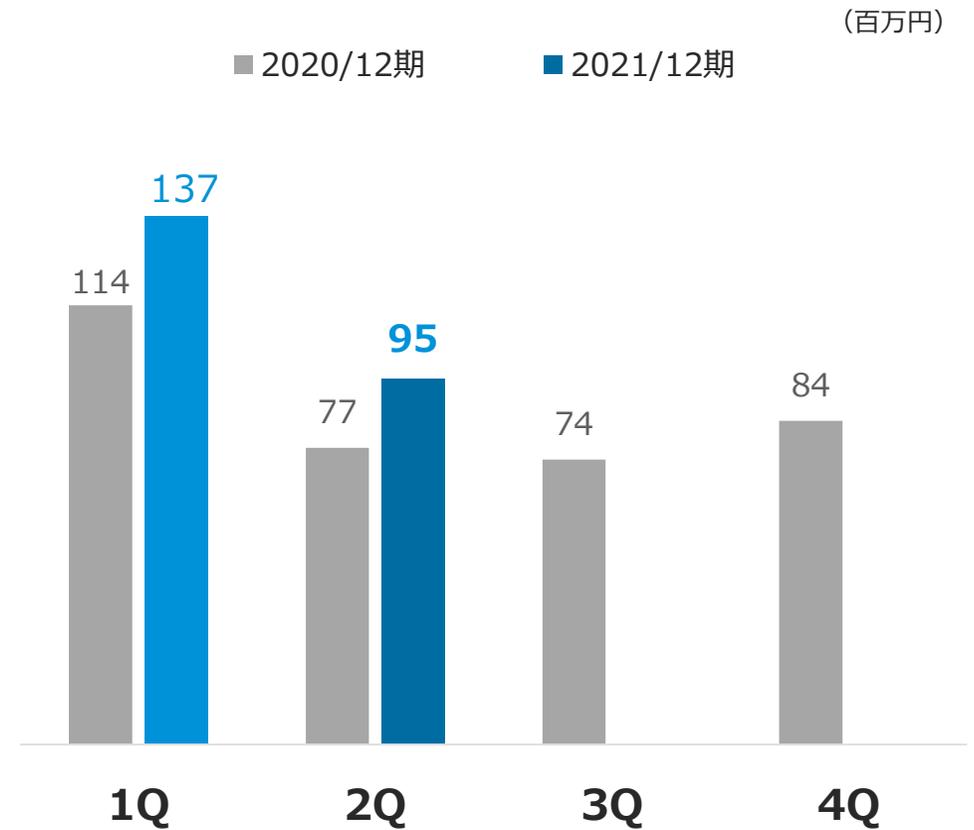


四半期別でも好調に推移し、第2四半期会計期間では過去最高の売上高・営業利益を達成

## 売上高



## 営業利益



企業のIT投資は堅調に推移しており、SI事業は好調、CS事業も堅調に推移

2QよりSI事業に子会社分が含まれているものの、売上高・KPIともに単体のみでも好調に推移

(百万円)		2020/12期 2Q (単体)	2021/12期 2Q (連結)	前期比	
				増減額	増減率
システムインテグレーション (SI)		1,767	<b>2,099</b> (1,886)	+331 (+119)	18.8% (6.8%)
クラウドサービス (CS)		112	<b>126</b>	+14	12.5%
合計 (売上高)		1,879	<b>2,225</b>	+346	18.4%
<b>主要KPI</b>					
SI	受注残高 (百万円)	586	<b>1,019</b> (725)	+433 (+139)	74.0% (23.8%)
CS	「KITARO」契約台数 (台)	7,170	<b>7,929</b>	+759	10.6%

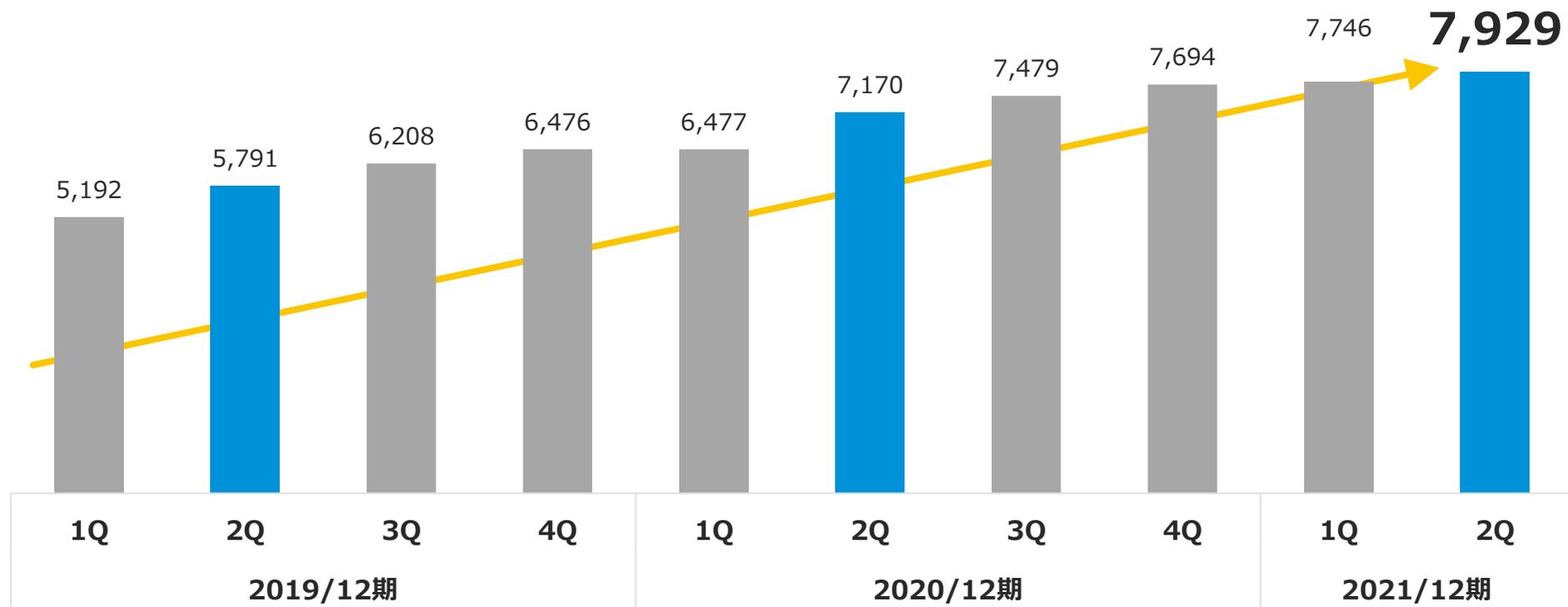
\* ( ) 内は、アクシス単体

サブスクリプションモデルで展開するリアルタイム運行管理システム「KITARO」の契約残高台数は新型コロナウイルスの長期化により中小企業取引先に影響も出ているが、純増で推移

EC利用やMaaS市場の成長に伴い、今後も物流・配送業界での運行管理利用増を見込む

「KITARO」契約残高台数の推移

(単位：台)



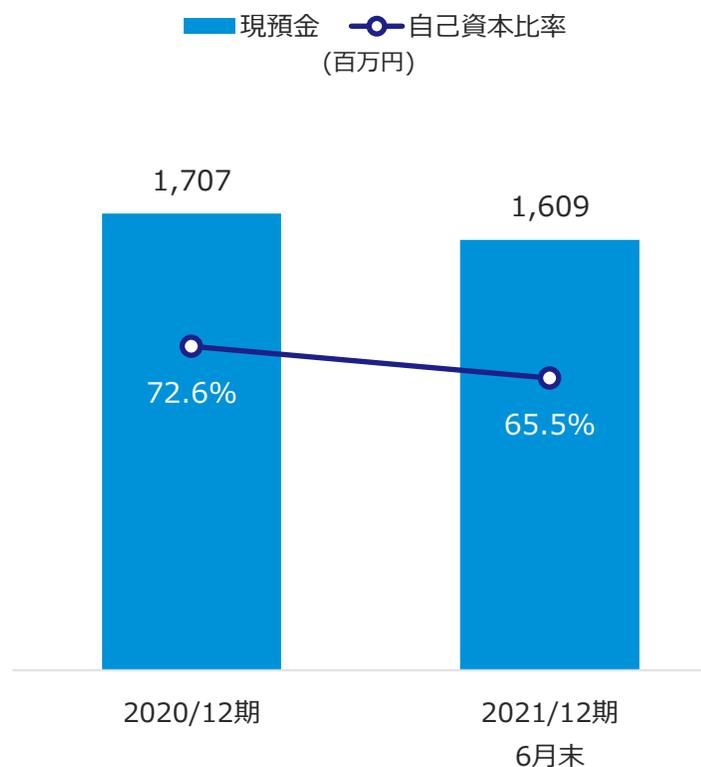
純資産は堅調に増加

有利子負債は、連結子会社化したヒューマンソフトの長期借入金

自己資本比率はやや低下も65.5%となお健全な状態を維持

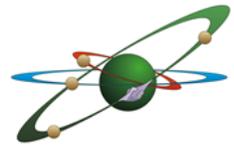
(百万円)	2020/12期	2021/12期 6月末	前期比増減
流動資産	2,246	<b>2,386</b>	+140
現預金	1,707	<b>1,609</b>	-98
売掛金	475	<b>704</b>	+229
棚卸資産	29	<b>29</b>	+0
固定資産	241	<b>589</b>	+348
総資産	2,487	<b>2,975</b>	+488
負債	681	<b>1,026</b>	+345
買掛金	109	<b>145</b>	+36
有利子負債	0	<b>141</b>	+141
退職給付引当金	183	0	-183
退職給付に係る負債	0	<b>200</b>	+200
純資産	1,806	<b>1,949</b>	+143
負債純資産合計	2,487	<b>2,975</b>	+488

主な財務数値の状況



# トピックス：(株)ヒューマンソフトの連結子会社化

4月1日よりシステムインテグレーションを主な事業とする(株)ヒューマンソフトを連結子会社化  
当社がカバーしていなかった領域への多角化やグループ全体の人員体制強化を図る  
連結子会社化に伴い、当第2四半期決算より連結決算に移行



株式会社ヒューマンソフト

通信事業者や企業・官公庁向けのシステム構築で培った知識と経験をベースに、ネットワークインフラや情報システムの企画・設計・開発・構築・運用・維持管理までワンストップでサポート



**連結子会社化によりグループ体制を強化し、事業領域を拡大**

国内トップシェアのアマゾンウェブサービス（AWS）との関係強化や  
大手企業の提供するDX関連製品の展開により、当社が重視する成長領域の拡大を推進

## 次世代SIの強化



### AWSパートナーネットワークの テクノロジーパートナーに認定

- アマゾンウェブサービス（AWS）が提供するパートナー制度において認定
- 国内トップシェアのクラウドベンダーとの関係強化により、当社が重視する成長領域のさらなる強化を図る

## DX推進商品の強化



### BizFront®シリーズ 販売開始

- BizFrontシリーズはNTTテクノクロス社が提供するUI改善ツール
- 取扱サイトを立ち上げ、更なる販売強化を推進中

オウンドメディア「テレマティクスサービス研究所」の展開により、「KITARO」サービスの活用をアピールし、潜在顧客とリードの獲得を強化

中長期的な成長に向けて、クラウドサービスやDX関連サービスなどの事業開発を促進

## KITARO×デジタルマーケティング



オウンドメディア「テレマティクスサービス研究所」を展開し、「KITARO」サービスも含めた有益な情報を発信

- “テレマティクスサービス研究所” (<https://blog.kitaro-sdp.com/>)を運営
- 「KITARO」サービスが提供するテレマティクスの活用により、運行管理や車両管理などに有効なブログ記事を掲載
- 「テレマティクスサービス研究所」×「KITARO」による新規顧客の獲得期待増

## 成長領域の更なる拡大



クラウドサービスやDX関連サービスなどの事業開発を促進

- 中長期的な成長に向けて、SI事業でのこれまでの資産、CS事業でのクラウドサービス運用の実績などを踏まえ、DXをキーワードとしてより一層のスピード感をもって取組中

## ② 2021年12月期 通期業績見通し



# 2021年12月期の通期業績見通し

第2四半期での進捗率は良好だが、新型コロナウイルスの影響を慎重に見積もり、通期業績見通しは変更なし。  
DXニーズの拡大を追い風に、30%増収、12%営業増益を想定。増益は2期連続、過去最高経常利益更新を見込む  
連結子会社化により、売上高、売上総利益、営業利益及び経常利益が増加（連結対象は9ヶ月間）  
取得関連費用の計上により、営業利益率、経常利益率は一時的に減少

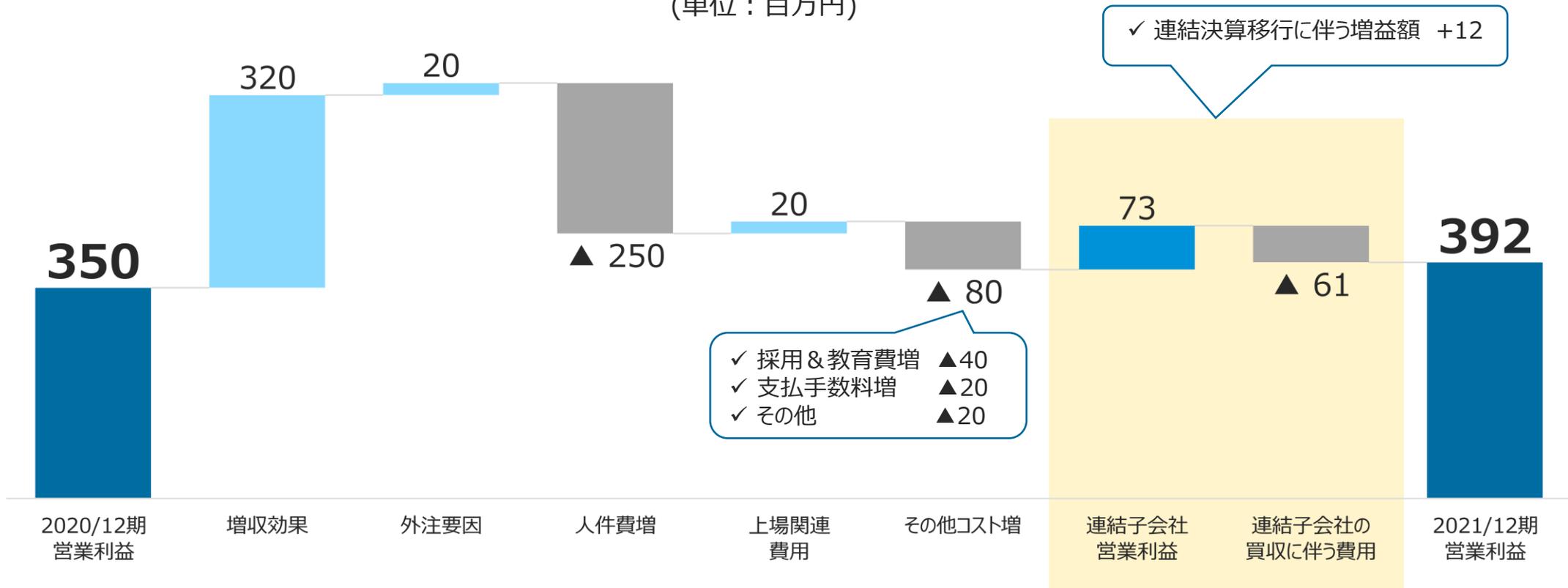
(百万円)	2020/12期	2021/12期 通期業績見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	3,723	<b>4,874</b>	+1,151	30.9%
システムインテグレーション (SI)	3,482	<b>4,604</b>	+1,122	32.2%
クラウドサービス (CS)	240	<b>270</b>	+30	12.5%
売上総利益	941	<b>1,260</b>	+319	33.9%
営業利益	350	<b>392</b>	+42	12.0%
経常利益	364	<b>411</b>	+47	12.9%
親会社株主に帰属する当期純利益*	258	<b>255</b>	▲3	▲1.2%
売上総利益率	25.3%	<b>25.9%</b>		+0.6p
営業利益率	9.4%	<b>8.0%</b>		▲1.4p
経常利益率	9.8%	<b>8.4%</b>		▲1.4p
<業績見通し前提>				
SI:プロジェクト件数 (件)	210	<b>275</b>	+65	31.0%
SI:プロジェクト平均単価 (千円)	16,584	<b>16,741</b>	+157	0.9%
CS:「KITARO」契約台数 (台)	7,694	<b>8,935</b>	1,241	16.1%

\*2020/12期は当期純利益

増益を牽引するのは引続き売上の拡大（前期比+30.9%）に伴う増収効果。ただし、コロナの影響により停滞していたエンジニア中途採用の積上げや本社スタッフ増強により人件費負担が嵩み、増益幅は前期比+12.0%の見通し  
 子会社取得に伴う増益額は12百万円の見込み

## 営業利益 増減益要因分析

(単位：百万円)



## ◆ 2021/12期 下期（3Qおよび4Q）における新型コロナウイルスの影響

**緊急事態宣言の継続的発出により現時点では不透明な要素もあるため、慎重に推移をウォッチする**

**現時点での下期の見通しは以下のとおり**

- ✓ SI及びDXへの需要は積みあがっている状況であり、アフターコロナでは収益拡大を予測
- ✓ 3Q（2021年7月～9月）以降については、緊急事態宣言の延長により事業見通しは流動的状況だが、4Q（2021年10月～12月）にはアフターコロナが開始し需要増と想定するが、慎重な対応を継続

## < 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、  
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<問い合わせ先>  
経営企画室 IR担当  
03-6205-8540  
[ir@axis-net.co.jp](mailto:ir@axis-net.co.jp)